

4 指導法改善のポイント

国 語【小学校第6学年】

正答の状況

年 度		平成28年度		平成27年度	
種 別		国語A	国語B	国語A	国語B
平均 正答数	県	10.8問／15問	5.7問／10問	9.6問／14問	5.9問／9問
	全国	10.9問／15問	5.8問／10問	9.8問／14問	5.9問／9問
平均 正答率	県	72%	57%	68.4%	65.8%
	全国	73%	58%	70.0%	65.4%

今回の調査結果から明らかになった成果と課題

○ 成果1〈A問題〉	目的に応じて、図と表とを関係付けて読むこと
○ 成果2〈B問題〉	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にし ながら読むこと
▲ 課題1〈A問題〉	登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えること
▲ 課題2〈A問題〉	平仮名をローマ字で書いたり、ローマ字を正しく読んだりすること
▲ 課題3〈B問題〉	グラフを基に、分かったことを的確に書くこと
▲ 課題4〈B問題〉	活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉えること

成果が見られた問題の概要例

○ 成果2〈B問題〉 設問番号 3 三

資料2 パン職人について書かれた本のインタビューのページ

パン職人の坂下さんに聞いてみました。

パン職人の声

◆ パン職人になったきっかけを教えてください。

子供の頃から、ふわふわもちもちのパンの食感が大好きで、たくさんパンを食べていました。そして、小学校高学年の頃から、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと考えようになりました。

◆ どのようにして、パン職人になったのですか。

中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入學していろいろな料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助として修業しました。修業中は、夢中でパンの作り方を学びました。四年たつてパン作りの全工程を任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

◆ この仕事の大変なところは、苦労は何ですか。

同じ種類のパンでも、材料の分量や温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるんです。毎日同じ味になるように作り方を考えることが難しいです。また、お客様がどんなパンを食べてほしいのかを想像し、自分が新しく考えたパンを思い通りに作ることは、さらに難しいです。

◆ どのような時に仕事の喜びを感じますか。

わたしはパンが大好きなので、パンのおりに包まれているだけで幸せな気持ちになります。自分の思いどおりのパンが焼き上がった時は、とてもうれしいです。いいにおいから出てくると、ふっくらと焼き上がったパンがまから出てくると、パン作りの苦労がふっと飛びます。焼き立てのパンがお店に並ぶと、お客様から「わあ」「おいしそう」とか声が上がるのがあるのですが、そんなふうにお客様のうれしそうな声が聞こえた時は、パン職人をやっているってよかったと実感します。

【特に心に残ったこと】

喜び

苦労

材料の分量や焼く温度などをその日の天気などに合わせて変える必要があり、毎日同じ味になるように作ることが難しい。

【特に心に残ったこと】

毎日、天気に関わらず同じ味になるように作るの、とても難しいんだけど、お客様が喜んでくれた時には、やりがいを感じることができるんだ。

【資料2をもとにしたメモの一部】

三 谷口さんは、パン職人の仕事について、「特に心に残ったこと」を中心に紹介したいと考えています。そこで、「資料2」を読み直しながら、紹介したいことをメモにまとめています。次の「資料2」をもとにしたメモの一部の□の中に入る内容を、おどの条件に合わせて書きましょう。

（条件）

○ 谷口さんの「特に心に残ったこと」が伝わるように書くこと。

○ 「資料2」から取り上げて書くこと。

○ 四十文字以上、六十文字以内で書くこと。

【設問の概要】

「パン職人」の仕事について【特に心に残ったこと】中の小見出し「喜び」に合う内容を【資料2】から取り上げて書く。

【平均正答率（％）】			
3	三	本県	全国
		54	53
			差
			+1

- 目的に応じて複数の資料の中から必要な情報を読み取ることができている。
- 分かったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことができています。
- 国語A・Bともに無解答が全国よりも少なく、国語Bの記述式の問題は、4問中3問が全国の平均正答率を上回るなど、国語の学習に積極的な姿勢がうかがえる。また、日々の指導で、自分の考えをまとめて書くことを位置付けた授業が展開されている様子が見えらる。

課題が見られた問題の概要（A問題）

▲課題 1（A問題） 設問番号 6

6

大森さんは、『おばあさんの飛行機』という物語を読み、登場するおばあさんがどのような人物なのかについて考えました。次の【大森さんの考え】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【大森さんの考え】

編み物が大好きで、納得がいくまで編み物の模様をくふうするおばあさんという感じがするな。

（問い）

大森さんは、自分の考えを友達に説明するために、根拠となる表現に……線を引きました。もう一度読むと、根拠となる表現が他にもあることに気がつきました。気がついた表現として最も適切だと考えられるものを、次の【物語の一部】の——部 1 から 4 までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【選択肢】

1

毛糸がよれよれになっていたので、湯気に当てて、…

2

大きな黒いちようちよが、窓からはいつてきました。

3

おばあさんは、ちようちよがはいってきたことも、まるで気がつきませんでした。

4

そつと手で、ちようちよをはらいのけました。

（本文から選択肢の部分のみ抜き出し）

【設問の概要】

文章を読んで、登場人物の人物像を説明する根拠となる適切な表現を選択する。

【平均正答率（％）】			
6	本県	全国	差
	6 1	6 4	- 3

〈本県の誤答傾向〉

正答	選 択 肢	類型（％）
	1 と解答しているもの	2 2
	2 と解答しているもの	6
◎	3 と解答しているもの	6 1
	4 と解答しているもの	9
	上記以外の解答	0
	無解答	1

（類型は小数第 1 位を四捨五入したため、類型の合計が 100 にならないこともある）

問題点とその改善点（A問題）

【大森さんの考え】の中に描かれているおばあさんは、納得がいくまで編み物の模様を工夫し、集中している姿を捉えているものである。

- 誤答 1 を選択した児童・・・「よれよれ」という表現から納得いかないと捉えたり、「毛糸がよれよれになっていたので」の「ので」の部分だけで根拠を表す表現と捉えたりしたのではないか。
- 誤答 4 を選択した児童・・・ちようちよをそつと払いのけるおばあさんの優しさを人物像として捉えているが、設問中に示されたおばあさんの人物像とは異なることに気付いていないのではないか。

【改善点】 物語文の指導において、広がりのある読みを大切にするとともに根拠となる叙述の確かさに気付かせる指導も重視する。

指導例：「モチモチの木」（3 年）における臆病な豆太と、勇敢な豆太の姿を文章中の叙述から捉える。

8

(例) [いぬ] ⇨ inu

1 [りんご] ⇨ _____
(ringo)

2 [あさって] ⇨ _____
(asatte)

3 hyaku ⇨ []
(ひゃく)

次の1と2の言葉を、例のように、ローマ字で書いていねいに書きましょう。また、3のローマ字は、ひらがなで書いていねいに書きましょう。

▲課題2 (A問題) 設問番号 8

【設問の概要】

ローマ字を書いたり読んだりする。

【平均正答率 (%)】				
		本県	全国	差
8	1	5 2	5 3	- 1
	2	4 1	4 2	- 1
	3	5 0	5 1	- 1

無解答率 (%)

		本県	全国
8	1	1 1	1 2
	2	1 1	1 4
	3	1 9	2 0

問題点とその改善点 (A問題)

平仮名をローマ字で書いたり、ローマ字を読んだりする問題である。平成21年度と同調査において、清音に比べて、濁音で表記されたものをローマ字で書くこと、促音を含んだローマ字で表記されたものを正しく読むことに課題が見られたことを踏まえて出題された。

本問題では、無解答の児童の多さが大変気になる。「1」、「2」については1割の児童が、「3」については2割の児童が無解答であった。誤答、無解答について、アルファベットが定着していないことによるものか、表記上のきまりを理解していないことによるものか、各学校において分析が必要である。

【改善点】

ローマ字指導については3年生で4～8時間程度の取扱いになっており、国語科の教科指導だけでは、なかなか定着してしないことが考えられる。

そこで、以下の点に注意しながら、該当学年のみならず、学校全体で指導を繰り返していくことが必要である。

○ 総合的な学習の時間等でコンピュータを用いた学習を行う際に、キーボード入力の仕方については、3年国語「コンピュータのローマ字入力」で学習していることから、平仮名入力のみならずローマ字入力も意識して指導する。

※ ローマ字表記の仕方とローマ字入力の仕方の一部に違いがあることに留意する必要がある。(長音や撥音等)

コラム① 根気強く工夫した文字指導や語彙指導を！



漢字指導やローマ字指導、文字に関する指導や語彙を広げる指導って、授業中の指導だけではなかなか定着できないですよね。でも、鹿児島の子供たちの漢字の読み書きの力って、結構高いんです。先生方の毎日の取組の結果です。そこで、ローマ字指導や語彙を広げる指導についても、今後、他教科等の学習や読書活動との関連を図ったり、繰り返し使う機会や家庭学習の中に位置付けたりする工夫も必要です。

課題が見られた問題の概要、問題点とその改善点、授業づくりのポイント（B問題）

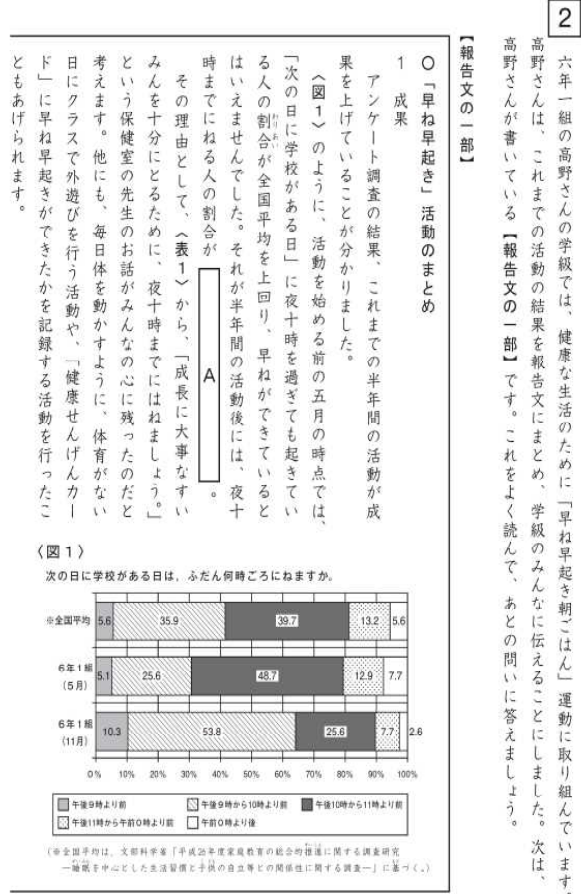
課題が見られた問題の概要（B問題）

【設問の概要】
グラフを基に書いた内容として適切なものを選択する。

▲課題3（B問題） 設問番号 2 一

【平均正答率（％）】			
2 一	本県	全国	差
	43	43	0

- 一 高野さんは、「1 成果」について（図1）を用いて書こうとしています。Aの中に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 五月の結果を下回り、三十パーセント程度になりました。
 - 2 五月の結果より減り、四十パーセント以下になりました。
 - 3 五月の結果より増え、六十パーセントをこえました。
 - 4 五月の結果を上回り、十パーセント程度になりました。
（波線は県教委が付記）



問題点とその改善点（B問題）

＜本県の誤答傾向＞

正答	選択肢	類型（％）
	1 と解答しているもの	29
	2 と解答しているもの	18
◎	3 と解答しているもの	43
	4 と解答しているもの	9
	上記以外の解答	0
	無解答	1

本問題の正答率は43％であり、半数以上の児童は比較するグラフを正確に読み取り、表現することができなかった。グラフの読み取りについては、社会科や算数科、理科など他教科での指導と関連付けながら、正確な読み方を身に付けさせる必要がある。

【改善点】

国語科として、読み取ったグラフを正確に表現できるかどうか検証する必要がある。例えば、選択肢1から4の中に比較を表す表現（下回り、より減り、より増え、上回り）や違いを表す表現（程度、以下、をこえる）があるが、その言葉の意味の違いはしっかりと認識できているか確認してほしい。

本年度の中学校数学Aに「不等式 $a > 5$ 」を言葉で表す問題があったが、本県では1割を超える生徒が「aは5以上である。」を選択しており、「以上」と「より大きい」という表現の違いを正確に認識していないことも考えられる。（「 $>$ 」と「 $\geq$ 」の不等号の記号の混同も考えられるので、算数・数学科での指導や中学校との連携の中で確認が必要である。）

六年一組の高野さんの学級では、健康な生活のために「早ね早起き朝ごはん」運動に取り組んでいます。高野さんは、これまでの活動の結果を報告文にまとめ、学級のみんなに伝えることにしました。次は、高野さんが書いている「報告文の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文の一部】

○「早ね早起き」活動のまとめ

1 成果

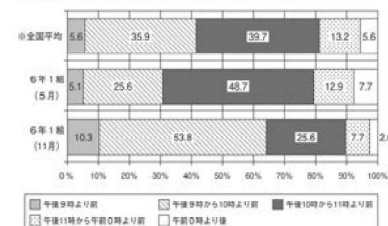
アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることが分かりました。

（図1）のように、活動を始める前の五月の時点では、「次の日に学校がある日」に夜十時を過ぎても起きている人の割合が全国平均を上回り、早ねができていないといえませんでした。それが半年間の活動後には、夜十時までにねる人の割合が

その理由として、（表1）から、「成長に大事なすいみんを十分にとるために、夜十時まではねましよう」という保健室の先生のお話がみんなの心に残ったのだと考えます。他にも、毎日体を動かすように、体育がない日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に早ね早起きができなかったかを記録する活動を行ったこともあげられます。

（図1）

次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろにねますか。



（※全国平均は、文部科学省「平成26年度家庭学習の割合に関する調査研究—睡眠を中心とした生活習慣と子供の発達等との関係性に関する調査—」に基づく。）

2 課題

成果があった一方、生活のリズムを保つという点で、今回の活動では改善できず、これから解決していきたい課題があることが分かりました。

課題は（図2）から分かるように、

この課題を解決するためには、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間、そして「健康せんげんカード」の記録方法について考える必要があることが（表2）から分かります。

3 解決方法
そこで、わたしたちは多くの人が取り組める次のような解決方法を考えました。

C

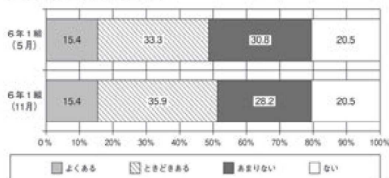
・休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるようにする。
今後は、これらの解決方法に取り組んでいきたいと思っています。

○「朝ごはん」活動について

（報告文が続く）

（図2）

次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時刻が2時間以上おそくなることはありますか。



（表2）

ねる時刻が2時間以上おそくなる理由は何ですか。（いくつ答えてもかまいません。）（6年1組 11月）

夜おそくまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから。	20人
夜おそくまで友達とメールなどをしてしているから。	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくてもいいから。	10人
家族のみんなも起きているから。	4人
その他	7人

（表1）

早ねをするようになった理由は何ですか。（いくつ答えてもかまいません。）（6年1組 11月）

保健室の先生のお話から。すいみんが成長に大事だと分かったから。	23人
毎日体を動かしたら、早くねられるようになったから。	14人
「健康せんげんカード」に記録するから。	9人
早ねを毎日続けるようにしたら習慣になったから。	8人
早ねをしたら授業に集中できるようになったから。	5人
その他	11人

▲課題4（B問題）

設問番号 2 三

【設問の概要】
活動報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する。

【平均正答率（％）】

2 三	本県	全国	差
	51	58	-7

＜本県の誤答傾向＞

正答	選択肢	類型（％）
◎	1 と解答しているもの	51
	2 と解答しているもの	15
	3 と解答しているもの	9
	4 と解答しているもの	21
	上記以外の解答	0
	無解答	5

問題点とその改善点（B問題）

誤答2，4を選択した児童は、筆者が「まとめ」の文章を通して伝えたいことや、構成の工夫に気付くことができず、「1 成果」だけに注目しているのではないかと考えられます。また、各段落の要旨を捉えて、筆者の意図を把握する必要があります。本県の小学校、中学校ともに要旨・要約の力については課題が継続しています。

【改善点】

- 説明的な文章指導の中で、要旨、要約の指導についての充実を図る。
- 話し手や書き手の目的や意図により、文章構成の工夫がなされることを理解させ、実際に工夫した表現で書かせることが大事である。

三 高野さんは、「早ね早起き」活動のまとめの中で、「1 成果」だけではなく、「2 課題」も取り上げて書きました。課題を取り上げた効果の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 問題点を解決しながら、さらに成果が上がる活動につながるができる。
- 2 活動に取り組むよさが明らかになり、それを多くの人に広めることができる。
- 3 この活動に取り組むようになった、最初のきっかけに気づくことができる。
- 4 成果が強調されて、この活動の必要性をより強く感じることができる。

